

はじめに

日本機械学会関東支部第 21 期
神奈川ブロック長 辻森 淳

紅葉の候、一般社団法人日本機械学会関東支部神奈川ブロックの会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、神奈川ブロックの活動に対しご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、2014 年度神奈川ブロック総会を迎えるにあたり、中心となって活動いただきました幹事会委員の皆様、ご協力・ご支援いただきました商議員、運営会委員の皆様、ブロック行事にご尽力賜りました神奈川県下の産官学各分野の皆様にご感謝申し上げます。

一般社団法人日本機械学会は、現在、会員数が約 36000 人で、そのうち関東支部は約 15000 人、神奈川ブロックは約 5000 人です。関東支部は日本機械学会の支部の中において会員数が最も多く、神奈川ブロックは関東支部の中で東京ブロックに続く第二の規模となっており、日々活発な学会活動を通して、神奈川の機械工業の活性化に努めております。日本機械学会は、一般社団法人となり、それに合わせて体制および規約等の整備が進み、新たな一步を踏み出しました。神奈川ブロックにおいても、これまで運営委員会・商議員会を頂点にした組織から、審議・決定機関である運営会と各種行事企画から運営までの実務を担当する幹事会の並列体制へと移行致しました。

神奈川ブロックの強みは、行事の継続、経験の蓄積、および産官学の連携にあります。本年度も、すでに神奈川フォーラム、小中学生工作教室、小中高校生見学会、学生研修会を実施し、本日、産官学交流会を開催いたします。12 月には企業見学会を実施する予定です。これら神奈川ブロックの行事は毎年継続的におこなわれており、単年度としての企画・実施内容の完成度はもちろん、継続性によりその意義がさらに深まっていると言えます。また、各委員の経験の蓄積も本ブロックの特色の一つです。機械学会の規約上、商議員は 2 年任期であることから委員の交替は避けられません。そのような制約の中、神奈川ブロックでは、これまでから商議員会とは別組織で運営委員会を組織し、行事企画をおこなってきました。本年度からは、幹事会が同様の役割を担い、その分野に精通した経験豊富な委員が数多くおります。また、幹事会委員は、産官学の各分野から選出されているため、産官学連携が強化され、機械学会および機械工業会の活動を継続的、かつ活発におこなう原動力になっていると考えられます。

さて、本年度も、神奈川ブロック最大の行事である産官学交流会の開催に至り、会場を提供いただきました株式会社東芝殿をはじめ、ご講演講師の皆様、企画から実施までご尽力賜りました委員の皆様にご厚く御礼申し上げます。設立 21 年目を迎えた神奈川ブロックは、産官学の垣根を越えて連携しており、今後もますます活発な学会活動を展開し、未来に向けた元気で輝く神奈川をつくっていくことでしょう。

2014年度 神奈川ブロック総会
第25回 神奈川県産官学交流会の開催にあたって



日本機械学会関東支部
第21期支部長 植田 利久

このたびは、神奈川ブロック第21期総会・第25回産官学交流会の開催、おめでとうございます。神奈川ブロックは、関東支部と同様、昨年度、設立20周年のひとつの区切りを迎えられ、あらたな1年を踏み出されたことと思います。また、産官学交流会についてみますと、本年度は25回ということで、四半世紀という節目を迎えられ、こころよりお慶び申し上げます。産官学交流会が25回を迎えられたということは、神奈川では、機械工学分野での産・官・学の交流が、支部、ブロックの設立前から活発に行われていたということを示しており、改めて敬服いたします。

日本機械学会の支部、ブロックは、部門と両輪をなして活動をしています。部門が日本機械学会に所属する専門家が専門的な内容について活動しているのに対し、支部、ブロックは、地域に密着して、日本機械学会に所属していない方々、地域の子供たち、小、中、高生、そのご家族の方々などと機械工学を通して交流しています。神奈川ブロックにおかれましても、小中高生見学会、神奈川フォーラム、小中学生工作教室、企業見学会、そして本日の総会、産官学交流会などを実施されていますが、これらの活動が日本機械学会の基盤となっていることは間違えありません。

これからも、日本機械学会が社会のなかで確固たる基盤をもって活動するためには、地域の方々の支えが不可欠です。ブロック設立から21年目、産官学交流会25回目の節目を迎えられ、今後のますますの活躍に期待しております。

最後になりましたが、神奈川ブロックのご発展と神奈川ブロックの皆様のご健勝を祈念いたしまして、本日のご挨拶とさせていただきます。

日本機械学会 関東支部
第21期 神奈川ブロック商議員

〔☆：ブロック長〕

No.	氏名	勤務先	職名
1	秋吉 亮	(株)IHI 技術開発本部 インキュベーションセンター	主幹
2	伊東 弘行	神奈川大学 工学部 機械工学科	准教授
3	植田 利久	慶應義塾大学 大学院理工学研究科 開放環境科学専攻	教授
4	内山 光夫	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	助教
5	大石 進	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科	教授
6	大貫 雅和	関東学院大学 工学部 機械工学科	助手
7	大野 英隆	湘南工科大学 工学部 機械システム工学科	准教授
8	大宮 正毅	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	准教授
9	尾崎 伸吾	横浜国立大学 大学院工学研究院 システムの創生部門	准教授
10	加幡 安雄	(株)東芝 電力・社会システム技術開発センター 回転機器開発部	主管
11	川上 善道	三菱重工業(株) 技術統括本部 横浜研究所 材料・構造研究室	主席研究員
12	川島 豪	神奈川工科大学 工学部 機械工学科	教授
13	河西 正彦	イースタン技研(株)	取締役社長
14	菊川 久夫	東海大学 工学部 医用生体工学科	教授
15	小林 健一	明治大学 理工学部 機械工学科	准教授
16	酒井 英司	(一財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所	主任研究員
17	佐藤 恭一	横浜国立大学 大学院工学研究院 システムの創生部門	教授
18	信田 昌男	(株)荏原製作所 風水力機械カンパニー 技術生産統括開発統括部 技術開発室 流体開発グループ	副参事
19	柴崎 健一	日本精工(株) 基盤技術研究所 機械研究室	室長
20	杉浦 壽彦	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	教授
21	高橋 博	(株)東芝 研究開発センター	主任研究員
22	田口 謙太郎	(株)日立製作所 横浜研究所	主任研究員
23	☆ 辻森 淳	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	教授
24	中根 一朗	神奈川工科大学 工学部 機械工学科	准教授
25	中村 元	防衛大学校 機械工学科	教授
26	西田 英一	湘南工科大学 工学部 機械工学科	教授
27	納富 充雄	明治大学 理工学部 機械工学科	教授
28	原村 嘉彦	神奈川大学 工学部 機械工学科	教授
29	前田 雄介	横浜国立大学 大学院工学研究院 システムの創生部門	准教授
30	本井 久之	(株)IHI 基盤技術研究所 機械要素研究部	部長
31	森 康	三菱電機(株) 鎌倉製作所 品質保証部システム 安全管理グループ	グループマネージャ
32	森下 達哉	東海大学 工学部 動力機械工学科	准教授
33	森田 寿郎	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科	准教授
34	柳生 裕聖	関東学院大学 理工学部 理工学科 機械学系	准教授
35	安田 誠	(公財)相模原市産業振興財団	チーフアドバイザー
36	山下 健一	(株)いすゞ中央研究所 エンジン研究第三部	主席部員研究員
37	吉岡 勇人	東京工業大学 大学院総合理工学研究科	准教授

日本機械学会 関東支部
2014年度(第21期) 神奈川ブロック幹事会委員

氏名	勤務先	所属	職名
秋吉 亮	(株)IHI	技術開発本部インキュベーションセンター	主幹
市川 和芳	(一財)電力中央研究所	エネルギー技術研究所	上席研究員
伊東 圭昌	神奈川県産業技術センター	機械・材料技術部 機械計測チーム	主任研究員
内山 光夫	関東学院大学	理工学部理工学科機械学系	助教
大谷 利一	日産自動車(株)	総合研究所実験試作部	部長
大谷 俊博	湘南工科大学	工学部機械工学科	教授
大貫 雅和	関東学院大学	工学部機械工学科	助手
加幡 安雄	(株)東芝	電力・社会システム技術開発センター 回転機器開発部	主幹
川上 善道	三菱重工業(株)	技術統括本部横浜研究所材料・構造研究室	主席研究員
川島 豪	神奈川工科大学	工学部機械工学科	教授
河西 正彦	イースタン技研(株)	本 社	取締役社長
佐藤 博之	湘南工科大学	大学院 工学研究科 機械工学専攻	准教授
信田 昌男	(株)荏原製作所	風水力機械カンパニー技術生産統括 開発統括部 技術開発室 流体開発グループ	副参事
清水 明	JFEエンジニアリング株式会社	総合研究所	主幹
田中 慶一	株式会社ニコン	コアテクノロジーセンター プロセス機器開発部	主任研究員
辻森 淳	関東学院大学	理工学部理工学科機械学系	教授
野々下 知泰	ネポン(株)	営業本部	部長
林 光一	青山学院大学	理工学部機械創造工学科	教授
原村 嘉彦	神奈川大学	工学部機械工学科	教授
深淵 康二	慶應義塾大学	理工学部機械工学科	准教授
古市 浩朗	(株)日立製作所	横浜研究所生産技術研究センタプロセスイノベーション研究部	主任研究員
前田 雄介	横浜国立大学	大学院工学研究院	准教授
松本 裕昭	横浜国立大学	大学院工学研究院	教授
村田 良美	明治大学	理工学部機械工学科	准教授
森下 達哉	東海大学	工学部動力機械工学科	教授
康井 義明	東海大学		名誉教授
山田 浩之	三菱電機(株)	鎌倉製作所宇宙システム第一部企画管理課	専任
和田 晃	富士電機(株)	川崎工場 回転機部	主査
安田 誠*	(公財)相模原市産業振興財団		チーフアドバイザー
大野 英隆**	湘南工科大学	工学部 機械工学科	准教授

*特別員 **オブザーバ

関東支部 第21期 支部役員

〔支部運営会 構成員〕

支 部 長 : 植 田 利 久 [慶應義塾大学 教授]
副 支 部 長 : 佐々木 直 哉 [(株)日立製作所 主管研究長]

〔 幹 事 〕

庶 務 幹 事 : 荒 木 幹 也 [群馬大学 准教授]
山 浦 弘 [東京工業大学 教授]
広 報 担 当 幹 事 : 石 井 孝 明 [山梨大学 准教授]
柳 生 裕 聖 [関東学院大学 准教授]
事 業 幹 事 : 田 川 泰 敬 [東京農工大学 教授]
佐 藤 恭 一 [横浜国立大学 教授]
学 生 会 担 当 幹 事 : 丸 山 真 一 [群馬大学 准教授]
荻 原 慎 二 [東京理科大学 教授]
会 員 担 当 幹 事 : 荒 木 稚 子 [埼玉大学 准教授]
角 田 直 人 [首都大学東京 准教授]
表 彰 担 当 幹 事 : 川 島 豪 [神奈川工科大学 教授]
中 垣 隆 雄 [早稲田大学 教授]
会 計 幹 事 : 山 下 進 [小山工業高等専門学校 准教授]
榊 原 洋 子 [東京電機大学 准教授]
監 事 : 木 内 龍 彦 [東洋エンジニアリング(株) フェロー]
渡 辺 昌 俊 [(株)日立製作所 主任研究員]

〔ブロック長〕

東 京 : 鳥 毛 明 [成蹊大学 准教授]
神 奈 川 : 辻 森 淳 [関東学院大学 教授]
埼 玉 : 長谷川 晋 一 [東日本旅客鉄道(株) 課長]
千 葉 : 森 田 昇 [千葉大学 教授]
茨 城 : 早 坂 靖 [(株)日立製作所 主管技師]
栃 木 : 桜 井 康 雄 [足利工業大学 教授]
群 馬 : 天 谷 賢 児 [群馬大学 教授]
山 梨 : 中 山 栄 浩 [山梨大学 教授]

**日本機械学会 関東支部 [神奈川]ブロック
2014年度(第21期)中間事業報告書**

〔自:2013年11月1日 至:2014年10月31日〕

開催年月日	会議・行事名	形態※	会場	会議事項(行事の場合はテーマ・講演数)	出席数
2013/11/22	第5回運営委委員会	主催	横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズ	第20期行事報告・企画	21
2013/11/22	第20期商議員会	主催	横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズ	第20期行事についての意見交換	18
2013/11/22	第20期総会	主催	横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズ	第20期行事についての中間報告, ブロック賞の授与	61
2013/11/22	第24回産官学交流会	主催	横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズ	オープン・イノベーションを神奈川から	61
2013/12/06	企業見学会	主催	千代田化工建設株式会社	千代田化工建設株式会社 子安リサーチパーク見学会	58
2013/12/06	第6回運営委員会	主催	千代田化工建設株式会社	第20期行事報告・企画	9
2014/02/07	第7回運営委員会	主催	神奈川県産業技術センター	第20期, 21期行事報告・企画	13
2014/03/25	第1回幹事会		神奈川県産業技術センター	第21期行事企画	17
2014/05/16	第2回幹事会		神奈川県産業技術センター	第21期行事企画	15
2014/07/24	小中高校生見学会	主催	京急ファインテック, 京急油壺マリンパーク	京急ファインテック工場見学および 京急油壺マリンパークバックヤード見学	47
2014/07/25	第3回幹事会		神奈川県産業技術センター	第21期行事報告・企画	20
2014/07/25	第1回運営会		神奈川県産業技術センター	第21期行事についての意見交換	14
2014/07/25	神奈川フォーラム	主催	神奈川県産業技術センター	「地球環境に貢献する最新技術と機械工学」講演7件	47
2014/08/04	小中学生工作教室(第1回)	主催	関東学院大学	スターリングエンジンの製作	64
2014/08/09	小中学生工作教室(第2回)	主催	川崎市産業振興会館	スターリングエンジンの製作	70
2014/09/12	学生会夏期研修会	主催	JFEエンジニアリング株式会社	JFEエンジニアリング株式会社見学および 若手技術者と機械系学生の交流会, 講演5件	31
2014/10/10	第4回幹事会		神奈川県産業技術センター	第21期行事報告・企画	15
2014.11.1~2015.2.28 予定					
2014/11/28	第5回幹事会		スマートコミュニティセンター (ラゾーナ川崎東芝ビル)	第21期行事報告・企画	
2014/11/28	第2回運営会		スマートコミュニティセンター (ラゾーナ川崎東芝ビル)	第21期行事についての意見交換	
2014/11/28	第21期総会		スマートコミュニティセンター (ラゾーナ川崎東芝ビル)	第21期行事の中間報告 神奈川ブロック賞の授与	
2014/11/28	第25回産官学交流会	主催	スマートコミュニティセンター (ラゾーナ川崎東芝ビル)	『『未来』へのものづくりを、神奈川から』講演4件	
2014/12/11	第6回幹事会		イースタン技研株式会社	第21期行事報告・企画	
2014/12/11	企業見学会	主催	イースタン技研株式会社	イースタン技研株式会社見学会 「ものづくりを支える神奈川の中小企業」	
2015 予定	第7回幹事会		神奈川県産業技術センター	第21期, 22期行事報告・企画	

※形態:主催、共催、協賛、協力、後援など

関東支部創立 20 周年記念
神奈川ブロック創立 20 周年記念
2013 年度（第 20 期）神奈川ブロック総会
第 24 回神奈川県産官学交流会
「オープン・イノベーションを神奈川から」

主催 日本機械学会関東支部，日本機械学会関東支部神奈川ブロック
主旨

停滞する日本の経済、ものづくりを再生するために、産・官・学の枠を超えた新たなものづくりモデルの創出が求められていると思います。神奈川県には優良な企業や大学、研究所が多く存在し、新たなモデルを創出する土壌が整っています。また神奈川 R&D 推進協議会でも検討が始まっています。そこで神奈川から発信する新たなオープン・イノベーションの形について考え、語り合う産官学交流会を開催することとなりました。また同時に、日本機械学会関東支部神奈川ブロックの総会，ならびに創立 20 周年記念をも含めた全体懇親会を開催し，より交流を深めたいと思います。

開催日

2013 年 11 月 22 日（金）13：00～18：30

会 場

横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ（JR「横浜」駅西口より徒歩 3 分）

〔〒220-8501 横浜市西区北幸 1-3-23，電話（045）411-1111〕

行事内容

<第 1 部>13：00～13：20

2013 年度神奈川ブロック総会

(1) 祝辞：JSME 関東支部長 13:00～13:10

(2) 総会：13:10～13:20

<第 2 部>13:20～16：30

第 24 回神奈川県産官学交流会：「オープン・イノベーションを神奈川から」

(1) 神奈川県からのご挨拶 13:20～13:25

神奈川県産業労働局長 桐谷 次郎 氏

(2) 基調講演 1 13:25～13:55

「講演題目未定」

東京大学監事 有信 睦弘 氏

(3) 基調講演 2 14:00～14:30

「産学連携に基づくイノベーション創出の必要性和トレンド」

経済産業省関東経済産業局 地域経済部 産業技術課長 酒寄 仁司 氏

(3) パネルディスカッション：14:40～16:30

「神奈川型オープン・イノベーションに関するディスカッション」

パネラー

横浜国立大学共同研究推進センター教授 村富 洋一 氏

慶応義塾大学理工学研究科・環境資源エネルギー科学専修 教授 鈴木 哲也 氏

KAST 理事長兼神奈川大学理事 馬来 義弘 氏

シンクタンク神奈川センター長 林 秀明 氏

富士通知の財産権本部ビジネス開発部部長 吾妻 勝浩 氏

株式会社 IHI 技術開発本部 本部長補佐 張 惟敦 氏

<第3部>16:40～18:30

懇親会

会 費

一般 7 000 円／人，学生 5 000 円／人

(会費は当日会場でお支払いください)

参加人数 約 150 名 (申込み順とさせていただきます)

申込方法 “第 24 回産官学交流会申込み” と明記の上，(1) 氏名 (フリガナ) (2) 連絡先住所(3) E-mail アドレス(4) 所属の企業，団体，大学名および部署名・学科，学年等添えて，11 月 15 日 (金) までに下記の申込先に E-mail, FAX またはハガキ等でお申し込み下さい。

申込先、問い合わせ先

横浜国立大学大学院工学研究院 システムの創生部門 荒木 拓人

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

FAX (045) 339-3920 / E-mail : kanagawa@jsme.or.jp

**関東支部創立20周年記念
神奈川ブロック創立20周年記念
第20期神奈川ブロック総会
第24回神奈川県産官学交流会
「オープン・イノベーションを神奈川から」
実施報告書**

ブロック長 松本 裕昭

1. 開催日 2013年11月22日(金) 13:00~18:30
2. 会場 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
3. 参加者 60名[一般名15名,学生16名,招待14名,商議員3名,運営委員12名]
4. プログラム
司会:株式会社 ネポン 野々下 知泰 氏(神奈川ブロック運営員)
【第一部】第20期神奈川ブロック総会 13:00~13:20
 - (1)祝辞
関東支部長 東京工業大学教授 中村 春夫 氏
 - (2)神奈川ブロック活動報告
神奈川ブロック長 横浜国立大学 松本 裕昭【第二部】産官学交流会(講演会) 13:20~16:30
 - (1)神奈川県からの挨拶
神奈川県産業労働局長 桐谷 次郎 氏、13:20~13:25
 - (2)基調講演、13:25~14:30
「これからのイノベーションの課題ー産学連携はイノベーションにつながるか?ー」
東京大学 監事 有信 睦弘 氏
「産学連携に基づくイノベーション創出の必要性和トレンド」
関東経済産業局 地域経済部 産業技術課長 酒寄 仁司 氏
 - (3)パネルディスカッション、14:40~16:30
 - ・横浜国立大学共同研究推進センター教授 村富 洋一 氏
 - ・慶応先端技術研究センター所長・慶応義塾大学教授 鈴木 哲也 氏
 - ・富士通知的財産権本部ビジネス開発部部長 吾妻 勝浩 氏
 - ・株式会社IHI 技術開発本部 本部長補佐 張 惟敦 氏
 - ・KAST 理事長兼神奈川大学理事 馬來 義弘 氏
 - ・シンクタンク神奈川センター長 林 秀明 氏【第三部】神奈川ブロック表彰式・懇親会、16:40~18:30
 - (1)神奈川ブロック表彰の贈賞
 - (1-1)功績賞
 - ・田中 慶一 氏(株式会社ニコン):ブロックの運営に貢献
 - ・古市 浩朗 氏(株式会社日立製作所):ブロックの運営に貢献
 - ・山口 方士 氏(株式会社IHI):ブロックの運営に貢献
 - (1-2)感謝状
 - ・神奈川県産業技術センター(ブロック活動、神奈川フォーラム)
 - ・関東学院大学(小中学生工作教室)
 - ・川崎市産業振興財団(小中学生工作教室)
 - ・株式会社IHI(夏休み学生研修会)
 - ・日本機械学会LAJ委員会(神奈川フォーラム、小中高生のための見学会)
 - 欠席-----
 - ・住友重機械工業株式会社(小中高生のための見学会)
 - (1-3)学生奨励賞
 - ・秋山 朋宏 氏(神奈川工科大学):学生会神奈川ブロック幹事として学生会の運営に貢献
 - ・河村 拓実 氏(横浜国立大学):JSME-diaにおいて神奈川ブロックの活動を紹介
 - ・鈴木 貴弘 氏(横浜国立大学):JSME-diaにおいて神奈川ブロックの活動を紹介

(1-4) 特別貢献賞

- ・渡辺 和徳 氏（電力中央研究所）：第6期ブロック幹事
- ・押野谷 靖雄 氏（東海大学工学部動力機械工学科教授）：第8期ブロック幹事
- ・小林 健一 氏（明治大学理工学部機械工学科准教授）：第18期ブロック幹事
----欠席----
- ・三澤 章博 氏（神奈川工科大学工学部機械工学科教授）：第4期ブロック幹事
- ・森山 裕幸 氏（東海大学工学部動力機械工学科教授）：第7期ブロック幹事
- ・金田 徹 氏（関東学院大学理工学部教授）：第9期ブロック幹事
- ・大野 英隆 氏（湘南工科大学工学部機械工学科准教授）：第12期ブロック幹事
- ・中西 裕二 氏（神奈川大学工学部機械工学科教授）：第13,14期ブロック幹事
- ・大宮 正毅 氏（慶応義塾大学理工学部機械工学科准教授）：第15,16期ブロック幹事
- ・椎葉 太一 氏（明治大学理工学部機械工学科准教授）：第17期ブロック幹事

(2)懇親会

5. 総括

- (1) 予定より参加者が少なかったが前記プログラム通り実施され無事に終了した。
- (2) 講演会・パネルディスカッションでは講演時間が伸びたため、意見交換が必ずしも十分ではなかった。
- (3) 懇親会は、歴代ブロック長の挨拶等もあり、有意義な交流がなされた。

6. 反省事項

- (1) 参加者が予定より少なかった。インフォメーションメールの配信時期、開催の周知方法などを十分に検討し、準備を周到にすべきであった。
- (2) 参加費をもう少し低く抑えるような工夫を考える必要があった。
- (3) 全体的に質疑応答時間が不足した。講演数などを十分検討する必要があった。

・第20期神奈川ブロック総会および第24回神奈川県産官学交流会



関東支部長の祝辞



神奈川県産業労働局長の挨拶



基調講演





パネルディスカッションの様子

・神奈川ブロック表彰式・懇親会



以上

企業見学会・講演会

主催 日本機械学会関東支部, 日本機械学会関東支部神奈川ブロック

開催日 2013年12月6日(金) 13:30~16:30

会場 千代田化工建設株式会社 子安リサーチパーク
(横浜市神奈川区守屋町三丁目13番地)

内容・スケジュール

千代田化工建設は、1948年の創業以来石油精製・石油化学・ガス精製/液化から医薬品・ファインケミカル・産業設備などの幅広い分野において、EPC(Engineering, Procurement&Construction=設計・調達・建設)業務としてのプラント建設を、国内外問わず世界各地で数多く手掛けています。また、環境・化学分野を中心に自社における技術開発も積極的に推進しています。

今回は、千代田化工建設株式会社 子安リサーチパークにて、同社の低炭素化社会に向けた水素サプライチェーン関連の技術を中心とした技術講演と設備見学を企画いたしました。奮って御参加下さい。

13:40~14:10 / 挨拶・会社紹介

14:10~15:00 / 技術講演

- ・水素エネルギーの大量貯蔵輸送技術「SPERA 水素技術」の概要
- ・千代田 HiCOT 改質炉技術紹介

15:00~16:00 / 設備見学

- ・ケミカルハイドライト法による水素貯蔵設備
- ・高温空気燃焼技術を用いた HiCOT 改質炉

16:00~16:30 / 質疑応答後解散

定員 60名(先着順とし、定員となり次第締め切らせて戴きます。)

申込方法 「神奈川ブロック見学会・講演会」と題記し、①氏名(フリガナ)、②連絡先住所、③E-mail アドレス、④所属の企業、団体、大学名および部署名・学科、学年等を明記の上、11月28日(木)までにE-mail(kanagawa@jsme.or.jp)までお申し込み願います。

問合せ先 (一財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所 市川和芳

E-mail : kanagawa@jsme.or.jp

[ご注意]

- (1) 同業種企業の方の参加は、ご遠慮願います。
- (2) 見学会における写真撮影、喫煙はご遠慮願います。

2013.12.12

事業報告書

関東支部神奈川ブロック ブロック長 松本裕昭（横浜国立大学）
行事担当 市川和芳（電力中央研究所）

「行事名」：企業見学会

「開催日」：2013年12月6日（金）13:30～16:30

「会場」：千代田化工建設株式会社 子安リサーチパーク
（横浜市神奈川区守屋町三丁目13番地）

「内容・スケジュール」：

13:40～ / 神奈川ブロック長ご挨拶

13:45～14:00 / 千代田化工建設殿 挨拶・会社紹介

機械設計ユニット ゼネラルマネージャー 菊地 尋彦 様

14:00～14:10 子安研究センターのご紹介

研究開発センター長 皆見 武志 様

14:10～15:00 / 技術講演

・水素エネルギーの大量貯蔵輸送技術「SPERA水素技術」の概要

技術開発ユニット 技師長

プロセス開発セッション水素貯蔵輸送タスクグループリーダー 岡田 佳巳 様

・千代田 HiCOT 改質炉技術紹介

機械設計ユニット 燃焼機器セクションリーダー 田中 俊久 様

15:00～16:00 / 設備見学

・ケミカルハイドライト法による水素貯蔵設備

・高温空気燃焼技術を用いた HiCOT 改質炉

・太陽熱発電装置

16:00～16:30 / 質疑応答後解散

「参加人数」：58名

川崎市と水素エネルギー事業で連携している企業ということもあり、産官学より、多くの方々に応募戴き、募集締切前に定員となった。設備見学中も多くの質問がなされ、関心の高さがうかがえる企業見学会となった。

日本機械学会「機械の日」イベント
神奈川ブロック「小中高生のための見学会」
<京急ファインテックでの鉄道車両工場見学と
油壺マリンパークでのバックヤード見学>

【企画】 (主 催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
(後 援) (公財)川崎市産業振興財団

【開催日】 2014年7月24日(木)

【時間】 9.30~16.30

【会場】 京急ファインテック (<http://www.keikyu-ftec.co.jp/>)
京急油壺マリンパーク (<http://www.aburatsubo.co.jp/index.php>)

【主旨】 神奈川ブロックでは、小中高生の皆様に機械やエンジニアリングに興味を持っていただくことを目的に「小中高生のための見学会」を機械の日に合わせて毎年開催しています。今年は、毎日多くの乗客を安全に運んでいる鉄道車両の工場見学と、水族館におけるバックヤード見学です。鉄道車両工場では実際の車両を整備している現場を見ることができます。マリンパークでは機械装置とは関係ないと思われる水族館でも魚を健康に飼育していくために欠かせない機械装置が活躍しているところを見ることができます。夏休みの1日を普段はできない体験や見学でお楽しみいただけます。奮ってのご参加をお待ちしております。なお、小・中学生には保護者の方が必ず同伴して下さい。また、工場内および滑りやすい場所を歩きますので、移動しやすい服装ならびに履物でご参加下さい。

【スケジュール】 09.30 京急久里浜駅 集合
09.30-10.00 貸切バスにて京急ファインテック へ移動
10.00-11.30 京急ファインテックでの工場見学
(事業所内及び定期車両・改造工事車両の撮影はできません。)
11.30-12.30 貸切バスにて京急油壺マリンパーク へ移動し入園
12.30-13.00 各自見学
13.00-13.30 (予定)水族館バックヤード見学
13.30-15.30 館内で各自昼食(レストランも利用できます。)
および見学
15.30-16.00 (予定)いるか・あしかショー
16.15- (予定)魚のパフォーマンスショー
16.30頃 現地解散(解散後も水族館をお楽しみいただけます。)

【集合場所】 京急久里浜駅改札口

【集合時刻】 9時30分（横浜駅8時37分発の快速特急が便利のようです。）

【参加費】 小・中・高校生 500円（ジュニア会友は無料）、
保護者 1000円（本会会員は無料）

【定員】 40名（保護者の方を含みます）※先着順・ジュニア会友優先枠有

【申込方法】 電子メールにて、7月14日（月）までにお申し込み下さい。

（お子様1名に対して保護者1名を原則とします。）

件名を「小中高生のための見学会参加申込」とし、以下の必要事項を記入して kanagawa@jsme.or.jp までお送り下さい。

①氏名、②性別、③学校名、④学年、⑤連絡先（電話、E-mail、FAX）、

⑥日本機械学会のジュニア会友資格の有無、⑦参加される保護者氏名と参加者との続柄、日本機械学会会員資格の有無。

*参加申し込みされた方には1週間以内に申し込み受理のメールを送信いたします。返信メールが届かない場合は、お手数ですが、再度確認のメールをお送り下さい。

【問合せ先】 川島 豪（神奈川工科大学 工学部 機械工学科）

E-mail : kawashima@eng.kanagawa-it.ac.jp, 電話 : (046)291-3122

以上

日本機械学会関東支部神奈川ブロック
小中高校生のための見学会
「京急ファインテックでの鉄道車両工場見学と
油壺マリンパークでのバックヤード見学」
実施報告書

- 1 実施日 2014年7月24日(木)
- 2 実施場所 京急ファインテックおよび京急油壺マリンパーク
- 3 参加者数 39名 (大人19人、高校生 0人、中学生 2人、小学生18人)
スタッフ:辻森ブロック長(挨拶)、大貫幹事、村田先生、伊東委員、川島 の計5名
同行者:塩川氏、長島氏(川崎市産業振興財団)、鈴木環境工学部門部門長 の計3名
総計 47人

4 実施概要

9:30 参加者集合(京急久里浜駅バス降車場)
京急ファインテックにバス移動
10:00 京急ファインテック見学
11:30 京急油壺マリンパークにバス移動
12:30 マリンパーク自由見学
13:00 バックヤードツアー
13:30 昼食および自由見学
15:30 いるか・あしかショー, 魚のパフォーマンスショー見学
現地解散

5 収支報告

(1) 支出

・貸し切りバス代		小計	35,400円
・京急油壺マリンパーク入園料		小計	25,000円
・委員交通費 内訳	@1,000円×3人	小計	3,000円
・スタッフ食事代 内訳	@1,550円×7人	小計	10,850円
・その他 通信費(後援・見学依頼等)	@82円×4枚	小計	328円
		小計	328円
		総計	74,578円

(2) 参加費

内訳	大人	@1,000円×8人	8,000円
	小・中・高生	@500円×7人	3,500円
		総計	11,500円

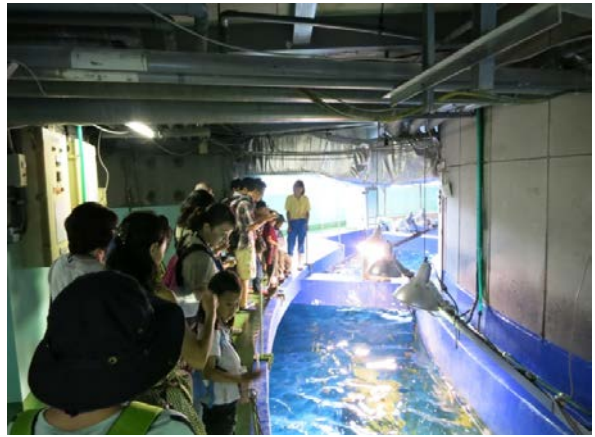
(3) 機械学会よりの補助金

内訳	74,578円 - 11,500円 = 補助金(予算:50,000円)	補助金	63,078円
----	-------------------------------------	-----	---------

6 あとがき

今年の見学会は、川崎市産業振興財団殿および京急サービス殿のご協力により、通常では見ることのできない稼働中の鉄道車両整備工場と水族館のバックヤードを見学することができた。関東支部の会員およびジュニア会友向けにインフォメーションメールを送信することで多数の申し込みをいただき、締切日を待たずにキャンセル待ちをお願いすることとなった。募集時期を夏休みの計画を立てる時期に合わせ、先着順にしたことで申し込みやすかったことが要因と考える。募集が掲載されている会誌を見て申し込む会員への便宜を踏るよう本部から指導があり、会友枠を7月14日まで確保しておいた。このため大貫幹事には大変な調整をしていただくことになり、感謝申し上げる。来年度より可能であれば6月号に募集を掲載できるよう計画する必要がある。また昨年度に続き、小中学生の欠席者はいなかった。開催日を夏休み開始直後の7月下旬にしたことで参加しやすかったと考える。なお、小中学生の参加者20名のうちジュニア会友は13名であり、参加された親子が非会員であったのは母娘で参加された1組のみであった。見学中の多くの子供の目が輝いていたことが印象的であった。この子供たちの多くが社会に貢献する夢を持ち、高校時代の物理を乗り越えて機械技術者の道に進んでくれることを期待したい。

以上



第 19 回神奈川フォーラム 「地球環境に貢献する最新技術と機械工学」

【企 画】 (主 催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
(共 催) 神奈川県産業技術センター (予定)
(後 援) 神奈川 R&D 推進協議会

【開 催 日】 2014 年 7 月 25 日 (金)

【時 間】 13.30~17.00

【会 場】 神奈川産業技術センター
(海老名市下今泉 705-1)
<http://www.kanagawa-iri.go.jp/aboutcenter/center-access.html>

【趣 旨】 近年、西日本と北陸などで PM2.5 の濃度が上昇し、10 府県で健康被害を脅かす事態となっている。このような背景のもとで、PM2.5 による健康被害を防ぐ最新の環境技術動向、研究開発、周辺技術や応用製品について発表・討議し、理解を深める。

【プログラム】

- 13.30-13.35 「開会の挨拶」
辻森 淳
(関東学院大学 理工学部理工学科 教授 (神奈川ブロック長))
- 13.35-14.00 「PM2.5 に対する神奈川県の取り組み」
小林 幸文
(神奈川県 環境農政局 環境部大気水質課 課長)
- 14.00-14.25 「PM2.5 の健康影響評価と環境基準」
中井 里史
(横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授)
- 14.25-14.50 「PM2.5 の成分をリアルタイムで分析する複合分析技術」
小泉 和裕
(富士電機 (株) 技術開発本部製品技術研究所 計測制御技術開発センター マネージャー)
- 14.50-15.10 「休憩」

- 15.10-15.20 「産業技術センターにおける粒子評価支援」
藤井 寿
(神奈川県産業技術センター 機械・材料技術部ナノ材料チーム
主任研究員)
- 15.20-15.45 「環境対策用電気集塵装置に関する最近の技術」
瑞慶覧 章朝
(神奈川工科大学 電気電子情報工学科 准教授)
- 15.45-16.10 「自動車の排気ガス浄化技術と最新の技術動向」
花木 保成
(日産自動車(株) 総合研究所 先端材料研究所 主任研究員)
- 16.10-16.30 「生産現場における劣悪な作業環境の空気浄化技術」
西村 司
(株) 流機エンジニアリング 常務取締役)
- 16.30-17.00 「総合討論」

【定 員】 70名

【参加登録費】 無料

【申込方法】 7月18日(金)までにメール (kanagawa@jsme.or.jp) にて、所属団体名、氏名、連絡先をお送り下さい。参加の可否を7月22日までにメールで連絡致します。期日まで連絡が届かなかった場合は下記問合せ先までお問い合わせ下さい。

【問合せ先】 大貫雅和 (関東学院大学)
E-mail : kanagawa@jsme.or.jp

以 上

事業報告書

日本機械学会関東支部神奈川ブロック 第19回神奈川フォーラム 「地球環境に貢献する最新技術と機械工学」

1. 主催・共催・後援
主催 一般社団法人日本機械学会関東支部神奈川ブロック
共催 神奈川県産業技術センター
後援 神奈川 R&D 推進協議会
2. 開催日 2014年7月25日(金) 13:30~17:00
3. 会場 神奈川県産業技術センター(神奈川県海老名市下今泉705-1)
4. 内容 近年、西日本と北陸などでPM2.5の濃度が上昇し、10府県で健康被害を脅かす事態となっている。このような背景のもとで、PM2.5による健康被害を防ぐ最新の環境技術動向、研究開発、周辺技術や応用製品、について発表・討議し、理解を深める。
5. プログラム
 - (1) PM2.5に対する神奈川県の取り組み
小林 幸文(神奈川県環境農政局環境部大気水質課課長)
 - (2) PM2.5の健康影響評価と環境基準
中井 里史(横浜国立大学大学院環境情報研究院教授)
 - (3) PM2.5の成分をリアルタイムで分析する複合分析技術
小泉 和裕(富士電機(株)技術開発本部製品技術研究所計測制御技術開発センターマネージャー)
 - (4) 産業技術センターにおける粒子評価支援
藤井 寿(神奈川県産業技術センター機械・材料技術部ナノ材料チーム主任研究員)
 - (5) 環境対策用電気集塵装置に関する最近の技術
瑞慶覧 章朝(神奈川工科大学電気電子情報工学科准教授)
 - (6) 自動車の排気ガス浄化技術と最新の技術動向
花木 保成(日産自動車(株)総合研究所先端材料研究所主任研究員)
 - (7) 生産現場における劣悪な作業環境の空気浄化技術
西村 司(㈱流機エンジニアリング常務取締役)総合討論
6. 参加者数 47名
7. 会計報告

通信費(後援・講演依頼等)	1,218円
交通費(打合せ)	4,000円
飲物代	3,000円
講演料(交通費含む)	50,000円
講演料源泉徴収	5,115円
振込手数料(源泉徴収)	216円
計: 63,549円	

8. 総括 産学官各々の方からPM2.5に対する取り組みが講演された。総合討論では活発な質疑応答がなされ、各参加者には有意義な意見交換の場となった。

以上

日本機械学会関東支部神奈川ブロック
「小中学生工作教室」
～スターリングエンジンの製作～ (第1回)

- 【企画】 (主催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
(後援) (独)宇宙航空研究開発機構(JAXA) (予定)
- 【開催日】 2014年8月4日(月)
- 【会場】 関東学院大学 金沢八景キャンパス
(横浜市金沢区六浦東 1-50-1)
<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/basic/about/outline/campus/facilities.html>
- 【趣旨】 機械のおもしろさ, ものづくりの楽しさを味わっていただくため, 小中学生工作教室を企画いたしました. 製作する模型エンジンは, JAXAで開発され, お湯を入れたコップの上でも動作します. 是非, 夏休みの自由研究に活用下さい. なお, 小学生の参加の場合には保護者の付添いをお願いします.
- 【時間】 午前の部 10.30~12.00, 午後の部 13.30~15.00
- 【定員】 各部 20名 (小学3年生~中学生)
(申込み多数の場合は抽選になります. 抽選結果は, 7月25日(金)までに連絡いたします.)
- 【参加費】 無料
- 【申込方法】 7月21日(月・祝)までに, 下記のURLにアクセスし, 申込フォームに必要事項を記載してお申込み下さい.
<http://www.fukagata.mech.keio.ac.jp/kousaku/entry-0.html>
*参加申込みをされた方には必ず申込み受理の自動返信メールが届きます. 申込みから3日以内に自動返信がない場合には, お手数ですが, 深淵 (fukagata@mech.keio.ac.jp) まで確認メールをご送付下さい.
- 【問合せ先】 深淵康二 (慶應義塾大学理工学部機械工学科)
E-mail : fukagata@mech.keio.ac.jp

以上

日本機械学会関東支部神奈川ブロック
「小中学生工作教室」
～スターリングエンジンの製作～ (第2回)

- 【企画】 (主催) (一社)日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
(共催) (公財)川崎市産業振興財団 (予定)
(後援) (独)宇宙航空研究開発機構(JAXA) (予定)
- 【開催日】 2014年8月9日(土)
- 【会場】 川崎市産業振興会館
(川崎市幸区堀川町66-20)
<http://www.kawasaki-net.ne.jp/kaikan/access.html>
- 【趣旨】 機械のおもしろさ, ものづくりの楽しさを味わっていただくため, 小中学生工作教室を企画いたしました. 製作する模型エンジンは, JAXAで開発され, お湯を入れたコップの上でも動作します. 是非, 夏休みの自由研究に活用下さい. なお, 小学生の参加の場合には保護者の付添いをお願いします.
- 【時間】 午前の部 10.30~12.00, 午後の部 13.30~15.00
- 【定員】 各部20名(小学3年生~中学生)
(申込み多数の場合は抽選になります. 抽選結果は, 7月30日(水)までに連絡いたします.)
- 【参加費】 無料
- 【申込方法】 7月26日(土)までに, 下記のURLにアクセスし, 申込フォームに必要事項を記載してお申込み下さい.
<http://www.fukagata.mech.keio.ac.jp/kousaku/entry-0.html>
*参加申込みをされた方には必ず申込み受理の自動返信メールが届きます. 申込みから3日以内に自動返信がない場合には, お手数ですが, 深淵(fukagata@mech.keio.ac.jp)まで確認メールをご送付下さい.
- 【問合せ先】 深淵康二(慶應義塾大学理工学部機械工学科)
E-mail : fukagata@mech.keio.ac.jp

以上

事業報告書

日本機械学会関東支部神奈川ブロック 「小中学生工作教室」 ～スターリングエンジンの製作～

1. 主催・共催・後援

第1回	主催：(一社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック 後援：(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)
第2回	主催：(一社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック 共催：(公財)川崎市産業振興財団 後援：(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)

2. 開催日

第1回	2014年8月4日(月) 午前の部 10:30~12:00、午後の部 13:30~15:00
第2回	2014年8月9日(土) 午前の部 10:30~12:00、午後の部 13:30~15:00

3. 会場

第1回	関東学院大学 金沢八景キャンパス (横浜市金沢区六浦東 1-50-1)
第2回	川崎市産業振興会館 (川崎市幸区堀川町 66-20)

4. 参加人数

第1回	49人(子供25人、保護者24人)
第2回	59人(子供31人、保護者28人)

5. 会計報告

教材購入費(模型スターリングエンジン×100個)	110,000円
その他(アルバイト, 関係者昼食代, 雑費)	57,684円
	計: 167,684円

6. 内容

(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)で開発された空き缶スターリングエンジンを組み立てる工作教室を JAXA より講師を招いて、下記進行にて開催した。参加した小中学生は工作に夢中で取り組んでいた。また、スターリングエンジンの仕組み・動作に保護者共に興味を持ち、参加者全員が十分に楽しめる内容であった。

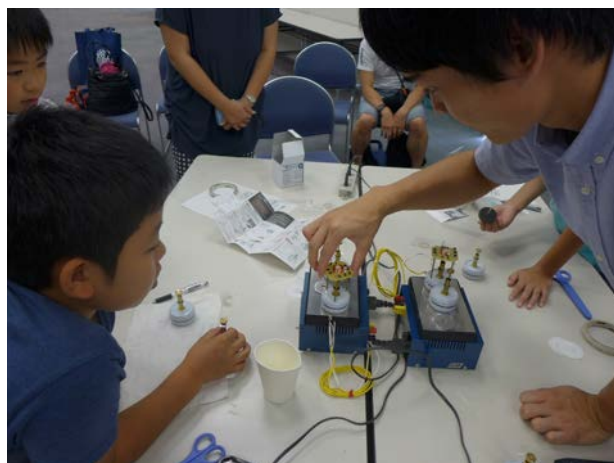
- (1) JAXA の紹介
- (2) 完成品スターリングエンジンの動作による内部構造・動作原理の想像
- (3) 空き缶スターリングエンジンの仕組みの説明
- (4) 空き缶スターリングエンジンの組み立て
- (5) 空き缶スターリングエンジンを使用した発電機による応用例の説明

以上

○第1回会場（関東学院大学 金沢八景キャンパス）



○第2回会場（川崎市産業振興会館）



2014年8月21日

日本機械学会関東支部・神奈川ブロック主催
「2014年度 神奈川ブロック学生会研修会」
JFE エンジニアリング株式会社見学および若手技術者と機械系学生の交流会

企業における製造、研究開発の現場を知る機会をつくとともに、企業に在籍する機械系の若手技術者から学生に向けて話をさせていただきます。技術講演とともに、入社後の経験談、現在のお仕事の内容、それらを踏まえた機械系学生へのメッセージなど話をさせていただく予定です。また、神奈川ブロックの学生同士の交流と親睦を目的として懇親会を行います。

開催日：2014年9月12日（金）

会場：JFE エンジニアリング株式会社

スケジュール（未定）

- 13:30 JFE エンジニアリング株式会社に集合（正門前）
- 13:30-14:00 JFE エンジニアリング株式会社の会社概要、見学概要
- 14:00-14:30 JFE エンジニアリング株式会社の技術講演「JFEにおけるガスエンジン開発への取り組み」
山崎 広恵（ガスエンジン技術部）
- ①入社後の経験談（開発、実工事、設計等）
 - ②現在の業務紹介
 - ③機械系学生へのメッセージ
 - ④ガスエンジン開発（技術内容）
- 14:30-16:00 JFE エンジニアリング株式会社の見学
- 16:00-16:30 イースタン技研株式会社講演「イースタン技研における製品開発について（仮）」川崎鉄船
- 16:30-17:00 株式会社日立製作所講演「日立製作所における研究開発について」中土裕樹（横浜研究所）
- ①日立製作所の紹介
 - ②横浜研究所の取り組み内容
 - ③担当業務と技術内容(樹脂含浸解析)の紹介
- 17:00-17:30 三菱電機株式会社講演「人工衛星における機械系技術」村瀬三郎（鎌倉製作所）
- 三菱電機は、宇宙事業に参入して以来、50機以上の人工衛星を製造してきました。本講演では、人工衛星の設計製造について、講演者の経験、現在の仕事を踏まえ、機械系技術の観点から紹介します。
- 17:30-18:00 三菱重工業株式会社講演「三菱重工における研究開発の概要」坂本慶吾（横浜研究所）
- 三菱重工における研究開発について、①研究所の紹介、②大学の研究との違い、③研究所の技術開発・ものづくり支援、④研究所で働く魅力、⑤各研究所の担当製品 についてご説明致します。
- 18:00-20:00 若手技術者と学生の懇親会

参加費：学生一人当たり¥2,000を徴収いたします。

参加定員：全参加者で最大30名（学生は20名程度）

問い合わせ：青山学院大学理工学部機械創造工学科 林 光一

Email: hayashi@me.aoyama.ac.jp, Tel: 042-759-6216

2014年10月6日

日本機械学会関東支部・神奈川ブロック主催
「2014年度 神奈川ブロック学生会研修会」
JFE エンジニアリング株式会社見学および若手技術者と機械系学生の交流会
実施報告

青山学院大学 林 光一

「JFE エンジニアリング株式会社見学および若手技術者と機械系学生の交流会」

企業における製造、研究開発の現場を知る機会をつくとともに、企業に在籍する機械系の若手技術者から学生に向けて話をさせていただきます。技術講演とともに、入社後の経験談、現在のお仕事の内容、それらを踏まえた機械系学生へのメッセージなど話をさせていただく予定です。また、神奈川ブロックの学生同士の交流と親睦を目的として懇親会を行います。

主催 : 日本機械学会関東支部神奈川ブロック

URL : <http://www.jsme.or.jp/kt/kanagawa/>

開催日 : 2014年9月12日(金)

会場 : JFE エンジニアリング株式会社

時間 : 13:00-20:00

1. スケジュール

13:00 JFE エンジニアリング株式会社に集合(正門前)

地図 : <http://www.jfe-eng.co.jp/information/list/yokohama.html>

13:30-13:35 日本機械学会関東支部 第21期神奈川ブロック長 辻森淳氏あいさつ(関東学院大学)

13:35-14:00 JFE エンジニアリング株式会社の会社概要、見学概要

14:00-14:30 JFE エンジニアリング株式会社の技術講演「JFEにおけるガスエンジン開発への取組み」

山崎広恵氏(ガスエンジン技術部)

①入社後の経験談(開発、実工事、設計等)

②現在の業務紹介

③機械系学生へのメッセージ

④ガスエンジン開発(技術内容)

14:30-16:00 JFE エンジニアリング株式会社の見学

16:00-16:30 イースタン技研株式会社講演「イースタン技研における製品開発について(仮)」川崎鉄船氏

16:30-17:00 株式会社日立製作所講演「日立製作所における研究開発について」中土裕樹氏(横浜研究所)

①日立製作所の紹介

②横浜研究所の取り組み内容

③担当業務と技術内容(樹脂含浸解析)の紹介

17:00-17:30 三菱電機株式会社講演「人工衛星における機械系技術」村瀬三郎氏(鎌倉製作所)

三菱電機は、宇宙事業に参入して以来、50機以上の人工衛星を製造してきました。本講演では、人工衛星の設計製造について、講演者の経験、現在の仕事を踏まえ、機械系技術の観点から紹介します。

17:30-18:00 三菱重工業株式会社講演「三菱重工における研究開発の概要」坂本慶吾氏（横浜研究所）
 三菱重工における研究開発について、①研究所の紹介、②大学の研究との違い、③研究所の技術開発・ものづくり支援、④研究所で働く魅力、⑤各研究所の担当製品 についてご説明致します。

以上の講演会では、若手技術者と学生との質疑応答を含む。

18:00-20:00 若手技術者と学生の懇親会

場所：JFE エンジニアリング株式会社

参加費：学生一人当たり¥2,000 を徴収いたします。

参加定員：全参加者で最大 30 名（学生は 20 名程度）

問い合わせ：青山学院大学理工学部機械創造工学科 林 光一

Email: hayashi@me.aoyama.ac.jp, Tel: 042-759-6216

2. 参加者

学生	17 人
講師	5 人
関係者（学会、会場）	9 人（学会 5 人、会場 4 人）
合計	31 人

3. 決算報告

(1) 支出

・手土産代		小計 2,160 円
・懇親会費		
食事代	120,000 円	
振込手数料	432 円	
		小計 120,432 円
・講演料（謝礼・交通費）		
謝礼（@4,454 円（所得税含む）×3 名）	13,362 円	
交通費（@1,000 円×3 名）	3,000 円	
振込手数料	216 円	
		小計 16,578 円
・委員交通費		
交通費（@1,000 円×5 名）		小計 5,000 円
		総計 144,170 円

(2) 収入

・参加費		
学生（@2,000 円×17 名）		総計 34,000 円

(3) 神奈川ブロック補助金

144,170 円	－	34,000 円	=	補助金	
				補助金	110,170 円

以上

第 21 期 神奈川ブロック表彰

【功績賞】

川島 豪 神奈川工科大学工学部機械工学科
村田 良美 明治大学理工学部機械工学科

【技術賞】

ミヤマ株式会社

理由：オートサイクルの燃焼に関する課題に取り組み、多点点火システムを用いて燃焼を早め、早期に燃焼圧力を高めることを可能にする装置の開発に成功し、熱効率を大幅に向上させた。同研究成果は、「Motor Fan（点火と燃焼）」等々に発表掲載された。なお、この取り組みは、東海大学との共同研究によっておこなわれ、神奈川ブロック内の産学連携にも貢献している。

【学生貢献賞】

櫻澤 歩

青山学院大学大学院理工学研究科理工学専攻機械創造コース博士前期課程 2 年

若林 諒

青山学院大学大学院理工学研究科理工学専攻機械創造コース博士前期課程 2 年

【感謝状】

神奈川県産業技術センター
公益財団法人 川崎市産業振興財団
京急サービス 株式会社
株式会社 京急油壺マリンパーク
株式会社 京急ファインテック
独立行政法人 宇宙航空研究開発機構
JFE エンジニアリング 株式会社
株式会社 東芝
イースタン技研 株式会社

2013年度 日本機械学会 神奈川ブロック
学業優良奨励賞

学 校 名	氏名	卒業式日程
神奈川県立川崎工科高等学校	米谷 慶宗	3月1日(土)
神奈川県立向の岡工業高等学校	垣内 大和	3月3日(月)
神奈川県立神奈川工業高等学校	関山 賢太	3月3日(月)
	藤川 翼	3月3日(月)
神奈川県立磯子工業高等学校	合田 陽兵	3月4日(火)
神奈川県立商工高等学校	砂川 祐大	3月8日(土)
神奈川県立横須賀工業高等学校	後藤 直也	3月3日(月)
神奈川県立藤沢工科高等学校	大貫 勇人	3月1日(土)
神奈川県立神奈川総合産業高等学校	伊藤 昂平	3月18日(火)
	関根 飛翔	3月7日(金)
神奈川県立平塚工科高等学校	上原 藍	3月1日(土)
神奈川県立小田原城北工業高等学校	瀬戸 尚幸	3月1日(土)
	小宮 辰実	3月1日(土)
川崎市立川崎総合科学高等学校	清原 靖久	3月1日(土)
	宮國 侑平	3月1日(土)
横須賀市立横須賀総合高等学校	梶ヶ谷 大空	3月3日(月)
	中村 駿介	3月3日(月)
私立横浜創学館高等学校	菊地 彩香	3月1日(土)
私立三浦学苑高等学校	松本 陽	3月1日(土)
神奈川県立海洋科学高等学校	新田 佑鋼	3月4日(火)